

傳設計ニュースレター

CONTENTS

- ◆ 今、伝えたいこと
～開かれたビルに～
- ◆ ZEB化計画に
BIMモデルの活用
- ◆ BIMをより良く
活用するために
- ◆ 時間がない！
杭の設計から発注まで
- ◆ コクヨの防災提案
- ◆ 壁面緑化が完成しました
- ◆ なごみ食堂オープン
奮闘記
- ◆ 社員名鑑



今、伝えたいこと ～開かれたビルに～

皆さま、こんにちは。梅雨の最中です。梅雨の末期は大雨が降ることが多いですが、大雨は川の氾濫や土石流、がけ崩れ、地すべりなどを発生させ、私たちの命を脅かすことがあります。最近では、都市部での急激な川の増水や道路や住宅の浸水、道路や鉄道をくぐるアンダーパス部の冠水などの被害もあります。災害への備えは知ることからとも言われます。私たち設計者も自然災害からの被害をいかに最小にするか考えているところです。

さて、弊社はビルを購入、改修し、3年前に香椎より移転してまいりました。移転の際に、ビル名のアイデアを社員から募り、最終的に私が「舞鶴DSビル」と名付けました。「舞鶴」は地名ですが、「DS」とは「Dens´ Square」の略で、弊社傳設計に関わる皆さまが集い、開かれたビルにしたいという思いを込めました。

「皆さまが集う場所」という意味で、貸会議室を作っておりましたが、その他に2つのプロジェクトを進めてまいりました。一つは、屋上の利活用です。当ビル屋上を緑化し、環境に配慮しながら、社員の職場環境の改善・癒しの場にすると共に、いずれ地域の方へも公開したいという思いがあります。地域のお子様と一緒に植物を植えたり、収穫したりと楽しい思い出ができるような空間のご提供です。

もう一つは、弊社1Fの社員食堂の一般開放です。弊社の社員食堂は、十数年前より続いており、「安全で安心な食事」であることをモットーにしています。この食事を地域の皆さまにも召し上がっていただきたいと、「なごみ食堂」として、5月17日にオープンいたしました。コロナ禍ということもあり、現在のところ、テイクアウト専門店としております。当ビルを「開かれたビルにしたい」と進めていくうちにコロナが蔓延しました。「開かれたビル」という考え方を難しく思うこともありましたが、この状況下で何ができるのか、考え続けていくことに重きを置き、今に至ります。弊社のお近くにお越しの際は「なごみ食堂」にぜひお寄りください。「ニュースレターを見た」と仰っていただければ、コーヒーを1杯サービスさせていただきます。(代表取締役 岩本 茂美)



★社員の食事風景★

岩本 茂美 (いわもと しげみ)

株式会社傳設計 代表取締役

《最近のこと》

先日のゴルフの、ショートホール。私ともう一方はワンオン。後ろの組の真っ黒に日焼けされたお二人に追われて(!?)いたため、「先にどうぞ」とお譲りしたところ、その方々もワンオン。しかし、私の方が後の組の方々よりもピンまでの距離近かったため、思わず写真をパチリ。バーディーにはならず。



★気分爽快★

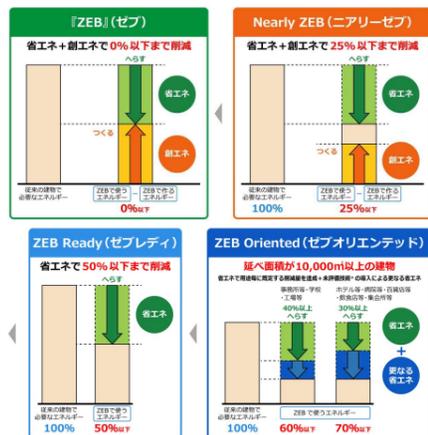
★ ZEB化計画にBIMモデルの活用 ★

今回は「ZEB」についてお話しします。ZEBとは、Net Zero Energy Buildingの略称で「ZEB(ゼブ)」と呼ばれます。環境省HPによると、建物の中では人が活動しているため、エネルギー消費量を完全にゼロにすることはできませんが、省エネによって使うエネルギーをへらし、創エネによって使う分のエネルギーをつくることで、エネルギー消費量を正味(ネット)でゼロにすることができるといいます。

また、ゼロエネルギーの達成状況に応じて、4段階のZEBシリーズが定義されています。右図のとおり、従来建物に必要なエネルギーに対する、省エネ(エネルギー削減量)の割合や創エネ(エネルギー創出量)の割合などで定義されています。エネルギー消費量をゼロにすることが難しい場合でも、ZEBシリーズとし

て実現を目指していくことがカーボンニュートラルの実現に向けて必要です。

ZEB化の検討において、建物の利用に伴う直接的なエネルギーを熱量換算した、一次エネルギー消費量の把握が必要となります。空調設備や照明設備、給湯等々建物利用において消費する一次エネルギーの量が少ない方が環境にやさしいとなります。一次エネルギー消費量算出の際に、BIM(Building Information Modeling)の活用を試みています。Revitにて入力したプランや建具寸法、ガラス種類などの情報をエネルギー計算ソフトに書き出します。これにより、エネルギー算出の手間を減らし、ZEB化検討がより身近なことになれば、カーボンニュートラルに繋がるのではないかと思います。(宮地)



★ ZEBシリーズ★ (環境省HPより引用)

傳設計 設計業務

BIMソフトは、コンピューター上で建物の3D(3次元)モデルを作成し、それを基に建築に必要な情報を把握する手法のことです。弊社では主に「Revit」を使用しています。

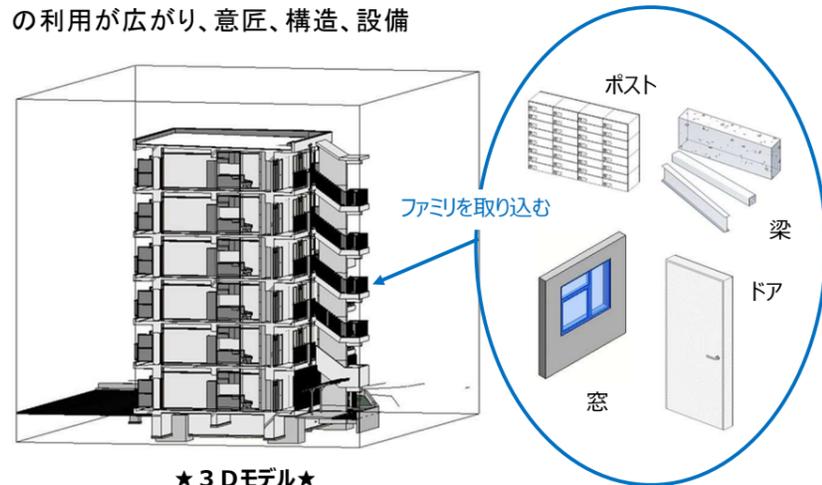
Revitは、「ファミリ」という部品を組み立てて3Dモデルを作成します。ファミリー一つひとつに情報を持たせることで、一つのモデルで建物のあらゆる情報を管理でき、正確な数量を集計することができます。しかし、ファミリを全て一から作るとなれば時間を要します。また、情報量が多いゆえ、データが重く、PCのスペックが作業性に影響するなどの課題もあります。そこで、弊社では、作成したファミリーは社内共有し、蓄積していくことで、効率よくデータベースを増やし、モデル作成にかかる時間の短縮を目指しています。

その他に、最近BIMを使用して作

図する物件が増えてきたなかで、複数人での分担作業や2D(2次元)との互換性についての課題が見えてきました。複数人での同時作業のしづらさは、社内ルール・作業分担を決め、リンクなどの機能を活用したいと思います。今後、さらにBIMの利用が広がり、意匠、構造、設備

が全て一つのモデルで作業できるようになれば、2Dへの変換による不整合がなくなると考えます。

今後も学びの共有を徹底し、BIMの活用に関心をもちたいと思います。(林田・山口(真))



★ 3Dモデル★

★ BIMをより良く活用するために★

NEW&HOT TOPIX

★時間が無い！杭の設計から発注まで★

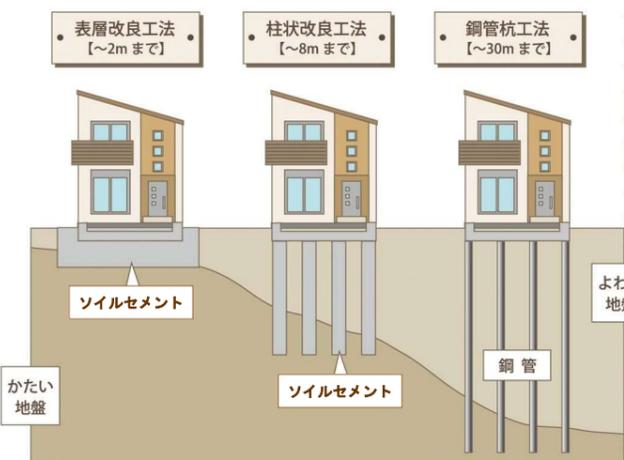
すべての建物の下には建物を支えるための『基礎』があります。地面の中に埋まっているため完成した建物では目に見えませんが、この『基礎』もわたしたち設計者が選定しています。

住宅よりも規模が大きい建物を設計する際に『ボーリング調査』とよばれる地盤調査を行うことが一般的で、地面からどのくらいの深さでしっかりした地盤が出てくるのかということを確認します。地盤の状況でどの基礎がよいか設計段階で選定を

行っているのですが、今回は基礎の1つである『杭基礎』についてお話いたします。

杭は現場で製作するものもあれば工場で作られたものを現場に搬入するものもあり、どちらを選ぶにしても製作時間が工事期間に大きく影響します。工事は設計が完了しないと始まるのができませんが、杭の製作に数カ月かかると工事期間もその分多く必要になります。そのため、杭の設計を行う際は複数の工法の杭を比較し製作納期も考慮して選定します。設計が始まるタイミングで現

場に納入する時期を確認し、逆算していつまでに杭を発注すればよいのかさらに逆算して申請はいつまでにしないといけないのか...というようにわたしたちは工程を作成しているので杭の発注は設計スケジュールと密に関係しているのです。(堀内)



★杭基礎比較★

地震速報を見るたびに、私たちがいかに地震の多い国に住んでいるのかということを感じ知らされます。今回は、オフィス家具、文具だけではなく、防災対策もされていっしょに、コクヨマーケティング様にお話を伺いました。

「東日本大震災から10年経ち、多くの企業が防災備蓄の更新時期にあたるのではないのでしょうか。また、併せてコロナ禍で働き方が大きく変化している中、従来の防災備蓄の在り方も見直す必要があります。総務の方々もリモートワークの日も設定される中、常時出勤ではない企業も増えています。これからの防災備蓄は、[業務の効率化を図る管理]と[働き方の変化に合わせた運用]が必要です。期限切れの防災備蓄を単に入れ替えるのではなく、変化を

踏まえた防災備蓄に切り替えていくことをおすすめします。

災害発生時にアイテムごとに担当者が仕分けをする作業は大変です。また、災害時に担当者が不在という恐れもある中、社員ひとりひとりが災害時に対応可能な準備をすることが必要と思われます。

コクヨでは社員それぞれに防災備蓄品を配布しておく、もしくは社内の目につきやすい場所に配置することができるように、防災備蓄品をひとつのパッケージとしてご用意し、日頃より防災の意識を持つことが出来るよう



★水・食料・トイレ・ブランケットが一つの箱に入った個人用の1日分備蓄セット★

な仕組みを作っています。

今回は、1人の必要な[水・食料品・トイレ・寝具]のセットアイテムをご紹介します。オフィス内の収納にピッタリ収容出来るモジュールで、オフィスの邪魔にならないデザインパッケージで展開をしています。」

地震のみならず、台風や大雨など自然災害に備えることは自分や企業を守ることとなります。9月1日の防災の日を前に防災対策の見直しをされてはいかがでしょうか。(藤田)



★コクヨの防災提案★ ~コクヨマーケティング株式会社様~

★壁面緑化が完成しました★

職場環境の改善と社員がリフレッシュできる空間づくり、そして協力会社や地域の方とのコミュニケーションの場づくりを目的とした、舞鶴DSビル屋上緑化計画ですが、この度メインとなる壁面緑化が完成しました。

今回は、屋上かつ海の近くという、植物にとって過酷な環境とのことで、協力会社の方にアドバイスをいただき8種類の植物を選定しました。社員にもアンケートを取り、結果として、花が咲き香りを楽しむことが出来るもの、実がなるものを大型プランターに植栽しました。どうか見た目にもこだわりたいなと思っていたところ、別の協力会社の方からパレットが余っているとの情報が！早速パレットの提供と解体のご協力をいただきました。通常は廃材となる木製パレットですが、上手く活用し、プランターカバーとして生まれ変わりました。今後はパレットを活用した家具などを作成したいと考えています！（平野）



★大きく育ちますように★



★完成！！★

社員名鑑 vol.43



★「なごみ食堂」オープン奮闘記★

先般、当ビル1F弊社直営の「なごみ食堂」がオープンいたしました。こちらは「今、伝えたいこと」で社長が申し上げました通り、弊社社員食堂の一般開放です。安全で安心な食事を皆さまにご提供いたします。

私は、本プロジェクトの一員ですが、調理のことも、お店の開店のこともよく知りませんでした。お店を経営した経験がある取締役や実際に調理をする管理栄養士の話聞きつつ、検討事項をネットで検索したり、効率化を進めたりと、まさに試行錯誤という言葉がふさわしい！プロジェクトです。今は新たな目標に向かうために、基盤を整えているところです。

なごみ食堂は、お食事を丼(1ボウル)にし、スープを付け、お出しします。また、ご飯は白米と雑穀米から選べ、無料でサイズ変更もできるようにいたしました。社員食堂なので、入りづらいかもしれませんが、お気軽にお立ち寄りください。お待ちしております。感想もお聞かせください。(古屋)



★テイクアウトできます★

〈なごみ食堂・価格〉

- 本日のランチ 645円
(1ボウルスープ付き)
 - 本日のランチ小鉢付き
750円
- ※消費税込み

◆編集後記／／／なごみ食堂の補足です。
◆営業時間は11:30から販売予定数終了まで、定休日は土・日・祝です。社員食堂の一般開放のため、メニューは1メニューとなります。お近くにお越しの際はお立ち寄りください。／アンケートを同封しておりますので、ニュースレターのご意見、ご感想をお聞かせいただけましたら、幸いです。(古屋)



なごみ食堂
QRコード
(LINE)



「想い・安全・未来をカタチに」
株式会社 傳設計
DEN ARCH.& ENG.OFFICE

〒810-0073

福岡市中央区舞鶴1-6-13 舞鶴DSビル

TEL:092-737-1500 (代表)

FAX:092-737-1501

